

布引支部/ニューサークルだより
神々が宿る伝説のお山
西区神出町「雄岡山、雌岡山へ」

布引支部 居場 幸子

昨年の5月にヒヨコに入会させて頂き1年が過ぎましたが、コロナ禍の中、思うように参加出来なかったり根性なしの為に尻込みしてしまったりして、いつまでも新人から抜け出せない私ですが、雌岡山に祀られている噂に聞くご神体ってどんなん？という興味と、雄岡山は標高 241.2m、雌岡山は標高 249m と私にはぴったりのコースで楽しみにしていました。

6月6日(日)、神戸電鉄緑が丘駅に9時集合し、まずは雄岡山に向かいました。



早くもホタルブクロが咲いていた！

登山口に向かう途中に孵化したてのベビースネークが道路を横断しようとしていたので早く渡るように促している最中に車がやって来て「いらんことしなければ良かった」と思う事態になってしまいました。それでもまだ動いていたので葉っぱで向こう側に連れて行き、気を取り直して目的地へ。



上/雄岡山頂・石の祠 下/山頂の一等三角点



雄岡山は、山頂まですれ違う人もなくて新緑の中、フレッシュな空気を満喫し、また山頂からの景色は水田や池が涼しげで癒されました。



雄岡山山頂(241.2M) 前列中央が私メです！

景色を楽しんだ後、雌岡山へ移動。

雌岡山は、登り始めてすぐの場所に梅林があり、500円で梅狩りが出来るとのことで、梅狩りを楽しんでおられる方々がおられました。梅林の周りには、紫陽花が咲いていて、白い紫陽花が見事でした。



雌岡山の頂上には神出神社の社殿があり、いつもなら自分の事や家族の事をお願いするのですが、今日はベビースネークの無事をお祈りしました。

山頂からの景色は、水田や池が広がり、また明石海峡大橋も遠くに見渡せて広い景色に見とれてしまいました。



雌岡山山頂(249.0M)から望む南の景観

景色を満喫した後、神出神社で昼食を頂きました。いつもながら、皆さんといろいろなお話をしながらの昼食時間が楽しくて、明るくパワフルなメンバーにパワーを頂きました。



仲良く並ぶ男女のお山は女性が高い(私達もね!)

昼食後は、気になっていた子宝祈願のご神体を拝見しました。

あっ、何を拝見したのか?・・・は、ここでは言えませんのよ。

下山後、同じ道を通って緑が丘駅へ。途中、ベビースネークを確認しましたが、逃げた場所には蛇を掴んだ葉っぱはあったけどベビーちゃんの姿は見え、無事だったと思うことにしました。



神が出るところと書いて神出、子午線 135 度の真上にある神出町、不思議なパワーがあふれている場所なのですので、あの小さな蛇も元気になっていると思います。

最後になりましたが、ヒヨコ登山会の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

天候 晴れ

参加者 10名(男性・4名 女性・6名)

【筆者に代わって、少し付け加え記述を】

「神出富士」とも「播磨富士」とも称されているこの山には様々な伝説が伝えられています。その一つは・・・大昔(神代)のこと。

素戔嗚尊(すさのおのみこと)と櫛稲田姫命(くしいなだひめのみこと)がここで出会い、大己貴命(おおなむちのみこと)/大国主命(おおくにぬしのみこと)を生みました。そして、大己貴命はここに住んで、百八十一柱の神を作った・・・というものです。したがって多くの神を出したところから「神出」と呼ぶようになり、山も「神出山」と言ったそうです。

二つ目は雄岡・雌岡の名の由来ですが、そのず〜と後、平城天皇が雌岡山の裾にある最明寺にいられた時、神の伝承を聞かれて雄岡雌岡の神号を贈られたとのこと。



そして、雌岡山には陽石と陰石をお祀りする裸石神社(らせきじんじゃ)がありますが、これの名付け(彦石、姫石)も平城天皇であったと伝説に有ります。

「山中には堅香子・かたかこ(カタクリ)の花生じ・・・」とあるように、早春にはカタクリが咲き乱れていたようで、良縁や安産の神としての信仰が絶えなかったようです。

・・・と言うわけで、ご神体を拝見するため、神社へ参ったのですが、残念なことに彦石様も姫石様も、神社の裏祠に無残な?姿で横たわって?おられました。・・・あ〜 合掌!



雄岡山をバックに金棒池にて